

チケット料金：  
 セット券/S席：28,000円 A席：24,000円 B席：20,000円  
 チケット発売：9月12日（土）正午より（初日は電話のみ） ※セット券は電話または窓口でのみ販売します。

単独券 第1回/S席：10,000円 A席：9,000円 B席：8,000円  
 第2回・3回・4回/S席：7,000円 A席：6,000円 B席：5,000円  
 チケット発売：10月24日（土）正午より（初日は電話・WEBのみ）

※セット券が完売した場合、単独券の販売はございません。  
 ※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません。

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂 045-263-3055 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
<http://www.ynt.yaf.or.jp>

### 横浜ベイホテル東急

フランス料理 「クイーン・アリス」 中国料理 「トゥーランドット游仙境」

お食事付きチケットのご案内【各回限定36名様】

## Queen Alice



石鍋裕シェフがプロデュースするフランス料理の名店「クイーン・アリス」、脇屋友詞シェフがオーナーを務める中国料理「トゥーランドット游仙境」でお食事をお召し上がりいただいた後、横浜能楽堂にて公演鑑賞いただくチケットをご紹介します。横浜ベイホテル東急から横浜能楽堂までお車でお送りしますので、ゆっくりとお食事をお楽しみいただけます。公演鑑賞前に優雅なひとときをお過ごしください。



## Turandot

游仙境

【料金】各回ともチケット代・お食事代・片道送迎代込み（税・サービス料込）

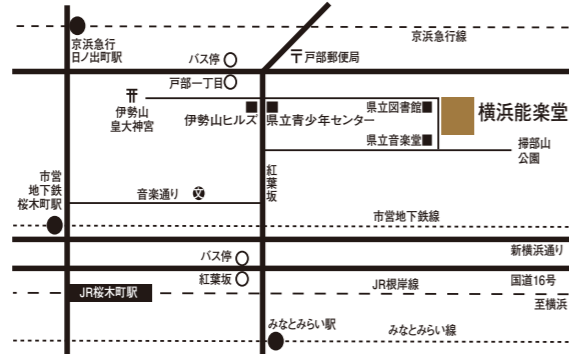
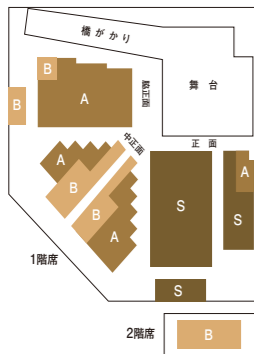
一般価格 第1回 S席：14,000円 A席：13,000円 B席：12,000円  
 第2回～第4回 S席：11,000円 A席：10,000円 B席：9,000円

【開催場所・開催日】

「クイーン・アリス」1月30日（土）第1回、2月20日（土）第3回

「トゥーランドット游仙境」2月11日（木・祝）第2回、3月21日（月・休）第4回

※友の会会員の方は割引がございます。 ※セット券をご購入の方もお申込み頂けます。 ※お食事付きプランは電話または窓口でのみ販売いたします。  
 ※公演2週間前までの受付となります。【詳細については横浜能楽堂までお問い合わせください。】



#### 交通のご案内

◇電車利用/JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分/みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分/京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分（タクシー利用は各駅とも約5分）  
 ◇バス利用/戸部1丁目（市営バス103系統）下車徒歩5分/紅葉坂（市営バス8、26、58、89、101、105、106系統/神奈中バス横43、横44、港61系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行/京急バス110系統）下車徒歩10分  
 ※ 駐車場はございませんので、ご来場の際は電車・バスをご利用下さい。  
 ※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。  
 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2  
<http://www.ynt.yaf.or.jp>  
 tel:045-263-3055

主催：横浜能楽堂（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



## 第1回「老いをどう生きるか」

平成28年1月30日（土）

開場：午後1時 開演：午後2時

講演 高橋睦郎（詩人）

狂言 「枕物狂」 (大藏流) 茂山千五郎

能 「鸚鵡小町」 (喜多流) 香川靖嗣

## 第2回「死者の行く先」

平成28年2月11日（木・祝）

開場：午後1時 開演：午後2時

講演 多川俊映（興福寺貫首）

狂言 「政頼」 (和泉流) 野村萬斎

能 「重衡」 (観世流) 味方玄

横浜能楽堂企画公演

# 生と死のドラマ

## 第3回「『忠』と『情』の選択」

平成28年2月20日（土）

開場：午後1時 開演：午後2時

講演 西野春雄（能楽研究者）

狂言 「武悪」 (大藏流) 山本東次郎

能 「仲光 愁傷之舞」 (観世流) 野村四郎

## 第4回「万物に宿る生命」

平成28年3月21日（月・休）

開場：午後1時 開演：午後2時

講演 山折哲雄（宗教学者）

狂言 「野老」 (和泉流) 野村万作

能 「芭蕉」 (宝生流) 武田孝史



横浜能楽堂



横浜能楽堂企画公演

# 生と死のドラマ

能・狂言が花開いた中世。それは、「生」や「死」が今よりも、ずっと身近な時代でした。

それを象徴するかのように、能・狂言の作品には様々な生や死が描かれています。

人は死後も霊として現れ、草木などの自然にさえ人格が宿ります。

そして生きる者は、「生」「死」の問題に直面し一喜一憂します。

この能・狂言に見られる死生観は、

600年以上経った今なお「生きること」「死ぬこと」を永遠のテーマとする私たちに、何を示すのでしょうか？

能・狂言の作品と講演による4回シリーズを通じて迫ります。

## 第1回 「老いをどう生きるか」

平成28年1月30日(土) 午後2時開演

100歳を超える祖父の老いらくの恋を描いた狂言「枕物狂」と、老女となり零落した小野小町の衰えぬ矜持を描いた能「鸚鵡小町」を上演。能・狂言で最も重く扱われる「老い」を描いた作品から超高齢化社会と呼ばれる現代を生きるヒントを探ります。

## 第2回 「死者の行く先」

平成28年2月11日(木・祝) 午後2時開演

殺生の罪を巡る閻魔大王と鷹匠・政頼とのやり取りをユーモラスに描いた狂言「政頼」と、南都焼討の罪で修羅道に落ちた平重衡の苦しみを描いた能「重衡」を上演。生前の行いとその報いを描いた作品から、日本人の「死生観」について迫ります。



© 栗原克巳

### 第1回

高橋睦郎(たかはしむつお)

詩人。1937年生まれ。59年第1詩集「ミノ・あたしの雄牛」刊。以後、詩、短歌、俳句、能、狂言、浄瑠璃…など日本語詩の可能性に挑みつづける。88年句歌集「稽古飲食」で読売文学賞ほか受賞多数。00年紫綬褒章、12年旭日小綬章受章。



### 第2回

多川俊映(たがわしゅんえい)

興福寺貫首。1947年生まれ。89年興福寺貫首に就任。18世紀に焼失した中金堂の再建など≪天平の文化空間の再構成≫に取り組む。著書に「唯識入門」「心に響く99の言葉―東洋の風韻」ほか多数。帝塚山大学特別客員教授。



### 第3回

西野春雄(にしのはるお)

能楽研究者。1943年生まれ。法政大学名誉教授。復曲や新作などにも力を注ぎ、復曲能「当願暮頭」や新作能「ジャンヌ・ダルク」などの能本作成を担当。著書に「岩波講座 能・狂言III」(共著)、「謡曲百番」(編集)など多数。



### 第4回

山折哲雄(やまおりてつお)

宗教学者。1931年生まれ。国際日本文化研究センター名誉教授(元所長)、国立歴史民俗博物館名誉教授。著書に「こころの作法」「17歳からの死生観」ほか多数。02年和辻哲郎文化賞ほか受賞多数。10年瑞宝中綬章受章。

## 第3回 「『忠』と『情』の選択」

平成28年2月20日(土) 午後2時開演

不奉公者の武悪、武悪を成敗しよう命じた主人、命じられた太郎冠者、三人の関係を劇的に描いた狂言「武悪」と、主君の命に苦悩する藤原仲光の姿を描いた能「仲光」を上演。武家社会の「忠義」と「情」をテーマに、人間の「倫理観」について考えます。

## 第4回 「万物に宿る生命」

平成28年3月21日(月・休) 午後2時開演

野老(山芋の一種)の霊が山から掘り出され、釜で煮られた様子を語る狂言「野老」と、女性の姿で現れた芭蕉の精が、世の無常を語り舞う能「芭蕉」を上演。あらゆるものに「生」を見出した日本古来の「生命観」に着目します。

講演	高橋 睦郎 (詩人)
狂言	「 <b>枕物狂</b> 」 (大藏流)
シテ (祖父)	茂山千五郎
アド (孫・甲)	茂山 茂
アド (孫・乙)	茂山 逸平
アド (乙御前)	茂山 虎真
笛	一噌 隆之
小鼓	田邊 恭資
大鼓	佃 良太郎
太鼓	梶谷 英樹
地謡	茂山 正邦 茂山 宗彦 丸石やすし 島田 洋海
能	「 <b>鸚鵡小町</b> 」 (喜多流)
シテ (小野小町)	香川 靖嗣
ワキ (新大納言行家)	宝生 閑
笛	一噌 仙幸
小鼓	鶴澤洋太郎
大鼓	國川 純
後見	塩津 哲生 中村 邦生
地謡	友枝 昭世 粟谷 能夫 粟谷 明生 長島 茂 狩野 了一 友枝 雄人 大島 輝久 金子敬一郎

講演	多川 俊映 (興福寺貫首)
狂言	「 <b>政頼</b> 」 (和泉流)
シテ (政頼)	野村 萬斎
アド (閻魔大王)	石田 幸雄
立衆 (鬼)	中村 修一
立衆 (鬼)	内藤 連
立衆 (鬼)	飯田 豪
立衆 (鬼)	竹山 悠樹
立衆 (鬼)	月崎 晴夫
立衆 (犬)	金澤 桂舟
笛	一噌 隆之
小鼓	成田 達志
大鼓	原岡 一之
太鼓	林 雄一郎
地謡	高野 和憲 岡 聡史 加藤 聡
能	「 <b>重衡</b> 」 (観世流)
シテ (老人・平重衡)	味方 玄
ワキ (旅僧)	殿田 謙吉
アイ (奈良坂辺の者)	高野 和憲
笛	一噌 隆之
小鼓	成田 達志
大鼓	亀井 広忠
後見	浅見 真州 味方 團
地謡	片山九郎右衛門 山崎 正道 浅見 慈一 角当 直隆 谷本 健吾 川口 晃平 安藤 貴康 観世 淳夫

講演	西野 春雄 (能楽研究者)
狂言	「 <b>武悪</b> 」 (大藏流)
シテ (主)	山本東次郎
アド (太郎冠者)	山本凜太郎
アド (武悪)	山本 則秀
能	「 <b>仲光</b> 愁傷之舞」 (観世流)
シテ (藤原仲光)	野村 四郎
ツレ (多田満仲)	観世鏡之丞
子方 (美女丸)	長山 凜三
子方 (幸寿丸)	谷本悠太郎
ワキ (恵心僧都)	宝生 閑
アイ (満仲の下人)	山本泰太郎
笛	一噌 庸二
小鼓	曾和 正博
大鼓	國川 純
後見	浅見 真州 谷本 健吾
地謡	浅井 文義 岡田 麗史 馬野 正基 北浪 貴裕 野村 昌司 長山 桂三 安藤 貴康 観世 淳夫

講演	山折 哲雄 (宗教学者)
狂言	「 <b>野老</b> 」 (和泉流)
シテ (野老の精)	野村 万作
ワキ (旅僧)	石田 幸雄
アイ (所の者)	月崎 晴夫
笛	松田 弘之
小鼓	飯富 孔明
大鼓	柿原 光博
地謡	野村 萬斎 高野 和憲 中村 修一 内藤 連 飯田 豪
能	「 <b>芭蕉</b> 」 (宝生流)
シテ (里の女・芭蕉の精)	武田 孝史
ワキ (山居の僧)	森 常好
アイ (里人)	野村 萬斎
笛	松田 弘之
小鼓	大倉源次郎
大鼓	柿原 崇志
後見	高橋 章 宝生 和英 朝倉 俊樹
地謡	大坪喜美雄 佐野 由於 今井 泰行 金井 雄資 大友 順 小倉健太郎 小倉伸二郎 和久荘太郎